

拳勝館加盟団体 殿

空手アカデミー拳勝館 事務局

「第42回 空手アカデミー拳勝館 選手権大会」開催の件

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より拳勝館の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「第42回 空手アカデミー拳勝館 選手権大会」を下記の通り開催致しますので、ご案内申し上げます。

また、開催に先立ち、後述内容にて代表者会議を行いますので、ご参集頂けますようお願い致します。

敬具

記

【大会要綱】

1. 大会名

「第42回 空手アカデミー拳勝館 選手権大会」

2. 主催・共催

主催：空手アカデミー拳勝館

共催：藤沢市空手道連盟

3. 開催時期

平成31年3月17日（日）午前8：00集合 午前9：30開会

（午前8：00体育館開館、役員は午前8：00集合、招待審判の方は午前9：00集合）

4. 会場

秩父宮記念体育館（8：00開場）

〒251-0026 藤沢市鵜沼東8-2 TEL. 0466-22-5335 FAX. 0466-28-5749

5. 大会役員

大会名誉会長	藤井 裕久
大会会長	木村 英勇
大会副会長	杉山 保
大会顧問（順不同）	星野 つよし、井上 祐介、市川 ひろかず
大会実行委員長	相良 隆政
大会実行副委員長	滝内 一夫、坂尻 茂、灰野 辰男、佐藤 秀喜、関野 治夫
大会監査長	木村 英勇
大会審判長	木村 研治
大会副審判長	木村 久乃、行田元、小屋敷律子
大会事務局長	武蔵辰也
大会事務局次長	滝内 洋子、荒木慎太郎、荒川 章、菅原 巧、渡辺 浩志

【役員重点業務分掌】

（1）大会実行委員長は大会の進行、大会審判長は試合及び試合結果について責任を担うものとする。

（2）具体的な役員の重点業務分掌は以下の通りとする。（代表者会議にて調整）

①大会委員長の重点業務分掌

- ・ プログラムの作成（時程表及びコート設営図の作成並びにトーナメント表の点検）
- ・ 競技用具の管理・手配（→用具提供の4支部にお願いする）
- ・ 来賓へのご案内（→荒木先生にお願いする）
- ・ 大会の案内状は、藤井先生、星野先生、井上先生、市川先生、鈴木市長、永田先生。
- ・ 新聞社等報道機関への結果通知（J Kファンとタウンニュース→木村師範・木村研治先生にお願いする）
- ・ ドクターと看護師の手配（→杉山先生にお願いする）
- ・ トロフィーと賞状（→関野先生にお願いする）
- ・ ラインテープの手配（→秩父宮記念体育館専用のテープを購入する。）
- ・ 記念品の手配（→木村師範にお願いする）
- ・ 昼食用弁当とお茶の配布、お茶とコーヒーの手配とお茶係り（杉山先生にお願い）
- ・ コート設営（8：00～）（富士ソフト企画よりデータ入手後、小屋敷先生へ確認する。）
- ・ パンフレットの最終承認
- ・ 広告先へのお礼状手配⇒（荒木先生にて対応。）

② 大会審判長の重点業務分掌

- ・ 招待審判員及び審判員の取りまとめ、代表者会議での大会審判員一覧表の提示←当日掲示(大会審判長に確認)
- ・ 招待審判員への挨拶状ならびに出/欠席確認の発送手配（発送先をリスト化し外注先に発注する）
- ・ 審判の事前練習 ⇒ (2/〇〇 小屋敷先生にて日程確認頂く。)
- ・ 招待審判員の開会式での紹介
- ・ 競技結果報告書の確定と提出
- ・ 競技に必要な書類の作成、印刷及び各コートへの配布

6. 競技方法及び種別

全日本空手道連盟組手競技規定及び同形競技規定に準ずる。

各種目を実施する最低人数は、3名とする。

人数が4名未満の競技は、大会実行委員長が競技の統合を決定する。

形競技は参加人数によって、男女混合の部とする。

マイ帯（赤・青）の使用は可とする。

（1）形の部

- ・ フラッグ制とする。
- ・ 二人同時に演武する。但し、決勝のみ一人ずつ演武する。
- ・ 但し、人数が3名以下の場合はリーグ戦【点数制】とする。
- ・ 基本形とは、ピンアン、ヘイアン、ゲキサイ、タイキョク又はサイファンチのいずれかとする。
- ・ 競技内容は以下の通りとする。

NO.	種 目	制 限
1	幼年男子	ピンアン、ヘイアン、ゲキサイ、タテヨク又はカイファンチのいずれか（以下「基本形」という）とし、1回戦からベスト16までは基本形とし、同一形を繰り返しても良い。ベスト8からは別の基本形か又は（財）全日本空手道連盟第一及び第二指定形（以下単に「指定形」という）に変更しても良く、ベスト8から決勝まで変更後の同一形を繰り返しても良い。（決勝まで同一形でも良い。）
2	幼年女子	
3	小学1年生男子	
4	小学1年生女子	
5	小学2年生男子	
6	小学2年生女子	
7	小学3年生男子	1回戦からベスト16までは基本形とし、同一形を繰り返しても良い。ベスト8からはベスト16までに使用した形とは別の基本形か又は指定形に <u>変更しなくてはならない</u> 。なお、ベスト8から決勝まで変更後の同一形を繰り返しても良い。
8	小学3年生女子	
9	小学4年生男子	
10	小学4年生女子	
11	小学5年生男子	
12	小学5年生女子	
13	小学6年生男子	
14	小学6年生女子	
15	中学生男子	1回戦からベスト16までは基本形又は指定形とし、同一形を繰り返しても良い。ベスト8からはベスト16までに使用した形とは別の基本形若しくは指定形又は自由形に <u>変更しなくてはならない</u> 。なお、ベスト8から決勝まで変更後の同一形を繰り返しても良い。
16	中学生女子	
17	一般有級男子	
18	一般有級女子	
19	一般有段男子	1回戦からベスト16までは指定形とし、同一形を繰り返しても良い。ベスト8からはベスト16までに使用した形とは別の指定形又は自由形に <u>変更しなくてはならない</u> 。なお、ベスト8から決勝まで変更後の同一形を繰り返しても良い。
20	一般有段女子	

（2）組手の部

- ・ トーナメント制で全てフルタイムとする。
但し、人数が3名以下の場合はリーグ戦とする。
- ・ 県大会及び錬成大会に準ずる下記の安全具の着用を義務づけるものとする。
- ・ 拳サポーター、プロテクター（一般有段男子は任意。）、メンホー、セーフティカップ（中学生以上の男子は義務。小学3年生以上は着用が望ましい。）、シンガード、インステップガード任意（白・赤色青色可）
※メンホー：市民総体では幼児から着用、代表者会議にて確認又は、大会審判長に確認 ←OK
- ・ 拳サポーターは、赤、青の他、白を認める。但し、禁止事項として以下のことを定める。
青の選手が赤の拳サポーターを着用することは認めない。
赤の選手が青の拳サポーターを着用することは認めない。
- ・ 競技内容は以下の通りとする。

NO.	種 目	競技時間	勝 負
1	幼年男子	1分	6本先取にて勝敗を決定
2	幼年女子		
3	小学1年生男子		
4	小学1年生女子		
5	小学2年生男子		
6	小学2年生女子		

7	小学3年生男子		
8	小学3年生女子		
9	小学4年生男子		
10	小学4年生女子		
11	小学5年生男子	1分30秒	同上
12	小学5年生女子		
13	小学6年生男子		
14	小学6年生女子		
15	中学生男子		
16	中学生女子		
17	一般有級（高校生以上）男子		
18	一般有級（高校生以上）女子		
19	一般有段（高校生以上）男子		
20	一般有段（高校生以上）女子		

（注）競技時間は、選手の参加状況により、大会当日までに変更することもある。

（案）：団体組手小学校1年から中学3年生までで、各学年1人（男女別）選抜のうえ実施する。小学生の部と中学生の部とした二部制による。審判長にて最終決定とする。3位まで入賞として賞状を準備する。

7. 表彰

- ・登録者数が2名～6名の場合は優勝のみとし、賞状及びメダル等を授与する。
- ・登録者数が7名～8名の場合は、優勝及び準優勝のみとし、賞状及びメダル等を授与する。
- ・登録者数が9名～15名の場合は、優勝、準優勝、第三位及び第四位とする。（第三位決定戦を行う。）
優勝、準優勝及び第三位には、賞状及びメダル等を授与し、第四位には賞状のみを授与する。
- ・登録者数が16名以上の場合は、優勝、準優勝、第三位2名及び第五位4名とする。
優勝、準優勝及び第三位には、賞状及びメダル等を授与し、第五位には賞状のみを授与する。

8. 参加資格

空手アカデミー拳勝館所属団体に所属している者、または空手アカデミー拳勝館首席師範の認めた者。

【大会細目】

10. 申し込み

(1) 申込み方法

- ・ 下記の申込み先よりメール配信された申込み書類に必要事項を記入し、下記の締切日までに、申込み送付先にメールする。また、参加費と団体会費は、下記の締切日までに、振込み先に振り込む。締切日までに、上記書類ならびに入金がなかった場合は、不参加と見なす。
- ・ 参加費は、選手1人1種目1, 500円とする。
2種目に参加する場合は、選手1人3, 000円とする。
団体組手参加の場合は、団体組手参加費は1団体2,000円とする。
- ・ 団体広告費は、1団体10, 000円とする。

(2) 締切日

拳勝館審判員の申込み書類の締切日 **平成31年1月4日（金）メールにて必着**

優秀選手締切日 平成30年2月 2日（土）各支部から富士ソフト企画株式会社
会社内空手アカデミー拳勝館選手権大会係宛
メールにて必着

その他の申込み書類の締切日 平成30年2月12日（火）各支部から富士ソフト企画株式会社メールにて必着
入金の締切日 平成30年2月13日（水）中

(3) 申込み送付先

<審判員の申込み書類>

田村先生 メールアドレス： masaki03tamura@ybb.ne.jp

<その他の申込み書類>

〒247-0072 神奈川県鎌倉市岡本2-13-18

富士ソフト企画株式会社内 空手アカデミー拳勝館選手権大会係宛

(4) 振込み先

神奈川銀行六会支店 普通 3094580 滝内洋子

11. 代表者会議

日 時 **平成31年2月16日（土） 13:00～14:30**

出席者 各競技団体の代表者1名以上

※当日の試合（案）について決裁を行うので、参加団体の代表者1名以上が参加するものとする。

代表者会議に不参加の（開始時刻に出席が無い）場合は、参加者に無条件に協議ならびに決裁を委任したものと見なす。また、送付された書類の内容の変更や、入金の払戻しは、一切受付けないものとする。

会 場 拳勝館事務局（空手アカデミー拳勝館本部道場）

〒251-0053 藤沢市本町1-8-26 TEL. 及びFAX. 0466-23-6570

- 内 容
- ・ 要項の説明及び競技ルールの徹底
 - ・ 競技用具の員数チェック結果の確認
 - ・ 団体からの審判員の確定と招待審判員の最終手配
 - ・ 競技組合せの決裁
 - ・ 領収書の発行（後日）

- 注意事項 ・各団体は、代表者会議前に事務局より各団体に送られた組合せ表（案）（当日配布）の内容を確認し、不備や不足、誤り等があればそれに朱記訂正したものを2月22日（金）までに下記問い合わせ先に申し送りすること。
- ・選手の名前が誤っている場合は、その通り賞状が印刷されるものとし、確認を徹底する。
 - ・代表者会議に欠席した場合で、組合せに訂正がある団体は、前述の朱記訂正した組合せ表（案）を、代表者会議に付議できるよう2月22日（金）までに下記問い合わせ先に申し送りすること。
 - ・競技用具を保管している団体は、用具入れに同梱してあるチェック表で、員数チェックを行い、代表者会議に持参すること。

12. 問い合わせ先

大会実行委員長 相良 隆政 mailaddress : t.sagara@jcom.zaq.ne.jp

13. その他

（1）補助役員

補助役員の配置は以下の通りとし、配置者を各団体から選出する。

7コート×6名＝42名…事前召集、整列

1コート6名、各コートの担当は以下の通りとする。

1コート：北部、2コート：栄、3コート：川崎、二子玉川、4コート：六会、

5コート：寒川、6コート：本部、7コート、戸塚

選手召集場所及び練習場所←要確認 六会、北部

本部席：4名（内訳：審判長補助 座間2名、事務局補助 座間2名）

（来年度から他の支部が担当する、その後、支部ごとに交代）

接待：6名 …茅ヶ崎

下足：2名 …六会、北部

選手召集：6名 …鎌倉・西湘

合計：60名

- （2）補助役員は腕章を着用するものとし、腕章又はネームプレートを事務局にて準備する。
- （3）幼年、小学1・2年生の選手は、背中に姓名をひらがなで書いた縦10cm横20cmの白布を縫いつけて（または同等のものを付けて）参加するものとする。（万が一、忘れて来た選手の為に、事務局で同等の幅のテーピングを準備する。）
- （4）選手・審判員・大会役員には、大会会長が手配した記念品を贈呈するものとする。
- （5）申込みの受付からプログラムの作成は、外注するものとする。
- （6）競技用具は、競技用具を保管している団体にて、用具入れに同梱してあるチェック表で、員数チェックを行い、代表者会議に持参する。
（電卓の電池切れは、各自で購入して入れ替え、滝内洋子先生に、領収書を添えて費用請求する。）
- （7）各団体からの審判員は、「参加申込書」に資格、主審の可否、氏名を記載し、前述の申込み書類の締切日まで各団体から回答する。
- （8）昨年の本大会のベスト4以上をシードとする。
- （9）各団体から提出される、参加メンバー表の内容は、誤りがないものとする。
- （10）当日の参加については、認めないものとする。
- （11）拳勝館の指導員および門下生で大会役員の者は、拳勝館のエンブレムとネクタイを着用のこと。←ネクタイない方もいるので類似OK！大会審判長に確認済

- (12) 速やかな大会運営のため、開会式後の準備体操は行わない。
- (13) 審判講習会 2/〇〇(〇曜日)9:00～ 拳勝館総本部(小屋敷先生にて確認する。)
- (14) 選手宣誓は〇〇(前回は座間支部、今回は滝内先生にて確認する。)から選出する。
- (15) 補助役員1名につき弁当と千円を支給する。
- (16) 以下の条件に該当する拳勝館門下生は、優秀選手表彰の対象者とする。
尚、対象の大会は、2018年1月1日から同年12月31日までに開催されたものとする。
- ・ 県大会優勝者
 - ・ 関東大会で3位までに入賞
 - ・ 全国大会でベスト8までに入賞
- (17) 小学生以下は申し込み並びにプログラム、競技結果報告書に読み仮名を入れる。
- (18) 時間短縮のため各コートにて、(形・幼年・小1男女の選手を予め招集しておく。)
- (19) 組手及び形ともに、ラウンド毎に締めはしない。
- (20) 開会式で、選手宣誓選手、優秀選手ともに、予め前列に並ばせておき、時間短縮する運用とする。
- (21) 以前、子供が遊んでいると体育館からクレームがあった。各支部で事前注意を徹底する。
また、警備の担当(事務局等)にて定期的に館内監視・整備を行う。
- (22) 欠席者は、欠席届を当該支部からコート長に当日朝提出し、呼び出し後の待ち時間を短縮する運用とする。
- (23) 招待審判の反省会費は、頂かないものとする。
- (24) 競技での礼は斜め入り、省略をしないものとする。
斜めに入り開始線で礼、形が終了時礼、後ろに下がって判定を聞き、お互いに礼、正面に礼。(代表者会議、大会審判長に確認済。)
- (25) コート別進行予定表は、有段の形と組手を最初に行い、試合後有段者で審判等が行えるようにする。
- (26) 組み合わせは、一回戦を行った選手が即時2回戦を行わないように配慮する。
- (27) 冊子の部数は、選手1人1部とする。
- (28) 第36回より、試合順をパンフレットに加えることとし、外注する。
- (29) 第36回より、競技にシニア部門(男性40歳以上、女性35歳以上で成年との選択制)と障害者の部(エキシビジョン)を新設する。内容は、代表者会議にて決定し、盛込むものとする。
- (30) 各支部の旗は、きれいに配置するよう、開会前に整備することとする。
- (31) 観客席はゆずりあいをし、紐等での場所取りを禁止するよう、各団体で事前に徹底する。
- (32) マットは使用しないこととする。
- (33) 選手が体育館内をはだして走りまわらないことを、各支部で事前徹底する。
- (34) 幼年1, 2年は氏名を記載したゼッケンを背中に表示すること。(黒字)
- (35) 忘れ物は、廃棄する。またその旨を体育館使用上の注意に追記する(第37回より追記済み)。
- (36) 第36回では午前中の進行が形でお互いに礼をするコートが長引いたが、今後は最後のみお互いに礼をする。
(←代表者会議、大会審判長に確認済)
- (37) 申請する選手名の誤りがないように各支部で確認した申請を徹底する。
- (38) 終了時間は16:00、16:30に撤収⇒要確認: 体育館撤収時間=19:00
→タイムスケジュールコントロールを大会実行委員長が行う。

2/16（土）代表者会議 及び 秩父宮記念体育館打合せ事項（〇〇先生）

- * 表紙は戸塚支部「万里一空」（今回はどの支部か?滝内先生にて確認する。）
- * パンフレット：〇〇色
- * 選手宣誓、〇〇支部 2/22 までに富士ソフト企画(株)へ連絡。
- * 今回、茅ヶ崎支部にて接待係、お弁当をお願いする。
- * パンフレットの変更は 2/22（金）まで連絡する → 〇〇先生（招待審判は木村研治先生、選手宣誓の選手は〇〇支部〇〇先生より）
- * 下足袋は各自で用意するよう各支部内で展開する

※【追加決定事項】

※開会式時の国歌斉唱の際は、観客席の方々にもご起立頂く事とする。

式辞に「君が代国歌の演奏です。観覧席の皆様も国旗に向かってご起立をお願い致します。」を追記する。

※会場設営時に国旗の準備を行う。

※事務局と司会の役割は分離させる。（司会者の選出は代表者会議で決定する。）

以上